



ウォルター・クレイン (Walter Crane 1845-1915) は、19世紀後半にイギリスで活躍し、現代の絵本の基礎を築いた重要な画家の一人であり、また、ウィリアム・モリスとともにアーツ・アンド・クラフツ運動を推進したデザイナーとしても知られています。

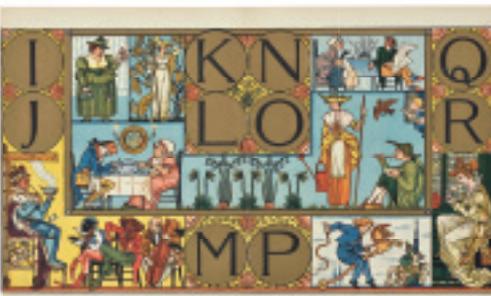
1845年、画家の息子としてリヴァプールに生まれたクレインは、木口木版の工房に入りデッサンの基礎を学びます。その後、多色刷木口木版の技術を開発した彫版師・刷師のエドマンド・エヴァンズに才能を見いだされ、二人は1865年に全ページカラー刷りのトイ・ブック(簡易なつくりの絵本)を生み出します。その後、彼らが次々と世に送り出した絵本は高い評価を得て、クレインは子どもの本の画家として一躍有名になります。見開きページ全体の調和を重視したクレインは、

絵本そのものの設計に目を向けた最初の画家・デザイナーといえるでしょう。一方で、当時の日本の浮世絵から学んだことも指摘されています。

1877年以降、クレインはトイ・ブックの仕事から離れますが、生涯にわたって挿絵の分野で数々の傑作を生み出します。その一方で、壁紙、テキスタイル、室内装飾などのデザイナーとして、教育者、画家、熱心な社会主義者として多方面で活躍しました。

本展は、本の仕事を中心にクレインの芸術を本格的に紹介する日本で初めての展覧会であり、ほぼすべての絵本と主要な挿絵本を網羅する約140点を展観します。またクレインとともに絵本の黄金時代を築いた画家ケイト・グリーンナウェイとランドルフ・コールドコットの作品約40点もあわせてご覧いただきます。

会期中、一部展示替えを行います。



1.「眠り姫」1876年|個人蔵 2.「美女と野獣」1874年|個人蔵 3.「長靴をはいた猫」1874年|個人蔵 4.「妖精の船」1870年|個人蔵 5.「フロラの饗宴」1889年|個人蔵 6.「眠り姫」1876年|個人蔵 表.「シンデレラ」1873年|鶴見大学図書館蔵

### 講演会

「ウォルター・クレインの絵本  
～ヴィクトリア時代に現代の絵本の源流をたどる」

講師：正置友子(絵本学研究所主宰)

5月5日(金・祝) | 14:00より(13:30開場予定)

11階講堂にて | 定員150名 | 聴講無料

\*当日12:00より11階にて整理券配布

### ワークショップ

「花の庭～美術館で妖精をみつげよう～」(事前申込制)

春の庭に種をまいたらどんなお花が咲くかな。

そのお花にはどんな妖精が隠れている？

想像を膨らませながら、色と形で遊びます。

4月29日(土・祝) | 13:30～15:30 | 11階講堂にて

小学生対象(1年生～6年生) | 定員15名 | 参加費300円

### 申込方法

往復はがきまたはホームページからお申し込みください。

往復はがきの場合は、郵便番号・住所・電話番号・氏名・

年齢・参加希望のイベント名・参加人数(2名まで)・

当日連絡可能な連絡先を明記の上、

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

千葉市美術館イベント係まで。

\*お申込みは1通につき1イベント。

\*応募多数の場合は抽選。

イベントの変更・追加につきましてはホームページをご確認ください。

### 市民美術講座

「ウォルター・クレイン入門」

講師：山根佳奈(当館学芸員)

4月22日(土) | 14:00より(13:30開場予定)

11階講堂にて | 先着150名

聴講無料

### 同時開催：「色で楽しむ現代美術」

次回展予告：「歿後60年 椿貞雄 師・劉生、そして家族とともに」6月7日(水)～7月30日(日)

### 交通案内

・JR千葉駅東口より  
徒歩約15分/バスのりば⑦より大病院行または  
南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車 徒歩約3分  
千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車  
徒歩約5分  
・京成千葉中央駅東口より 徒歩約10分  
・東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で  
宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、  
・国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く  
\*千葉市中央区役所と同じ建物です。  
\*地下に、区役所と共用の機械式駐車場がありますが  
混雑時はご不便をおかけすることもありますので、  
公共交通機関でのご来館をお願いします。

## 千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL:043-221-2311(代表) | FAX:043-221-2316

http://www.ccma-net.jp

### ギャラリートーク

正置友子氏による：4月15日(土)14:00～

担当学芸員による：4月5日(水)14:00～

ボランティアスタッフによる：

会期中の毎週水曜日14:00～(4月5日をのぞく)

\*水曜日以外の平日にも開催することがあります。

\*混雑時には中止する場合があります。

